

鑑識活動の資機材の開発で 犯人捜査に貢献する

犯行現場で警察が行う鑑識活動を支えているのがピー・エス・インダストリー。鑑識に用いられる資機材を製造、販売しています。代表的な製品は指紋採取用品で、採取する場所や状態によって何通りもの検出方法を用意しています。指紋を写し取る転写紙だけでも熱に強いもの、伸び縮みするもの、血液で付いた指紋専用のものなどいろいろ。現場の警察が状況に合わせて最適な採取方法を選択します。一番恐れるのは、指紋があるのに方法が適切でないため検出できないこと。証拠を見逃すことにもつながりかねないので、決してそんなことのないよう、現場の警察から上がる意見や要望を聞き取り、常に製品の開発や改良を繰り返しています。

「ニュースで私たちの製品が写っていれば自分の子どもを見る気分。その子どもたちの活躍で犯人が捕まったと聞けばうれしいですね」と、清水康明代表取締役は社会に貢献する仕事のやりがいを語ります。



指紋検出用の磁石の刷毛。ふわっと広がるように磁力を調整するのがノウハウ



鑑識セット

ここがすごい!! 1つの製品を開発するのに10年かかります

鑑識資機材は、人の人生を左右する道具なので開発も慎重であると同時に、使う側の警察も慎重です。また裁判所からも証拠能力が認められなければ意味がありません。そのため1つの製品がスタンダードとなるまでには、10年かかるそうです。会社の利益になるのはその後ですから、15年、20年と製品を育てていく覚悟がないと勤まらない仕事です。

DNA鑑定など、最新の捜査方法への対応も欠かせません。そうした積み重ねの結果、現在の取り扱い商品は9,000アイテム。3分の1が自社開発の製品です。



「最初はうまくいかないけど、ものができていくのは楽しい」。入社3年の板橋さん



「いくらでも引き出しがある」(社長談)。55年のベテラン梅沢さん

株式会社ピー・エス・インダストリー
www.psilttd.co.jp/

代表者 清水 康明
所在地 世田谷区赤堤5-35-4
設立 昭和22年(1947年)
主な事業 警察鑑識活動用資機材の製造販売
連絡先 ☎03-3322-5301



清水康明代表取締役

VOICE 尺取り虫のように 一步一步確実に

私たちが大切にしている言葉は「螻蛄(かくさい)」、尺取り虫の家という意味です。人に認めてもらうには自分が正しいと主張するだけではだめで、時間をかけてこつこつと実績を積んでいくしかありません。今認められなくても、正しいと信じて10年続ければ認められますよ。